



幌延町広報誌

ほろのべの恋

2019年 11 月号
(令和元年) NO.661

- 告知端末機の更新…P6
- ふるさと納税返礼品の紹介…P7
- 酪農体験ツアー in ほろのべ町…P12

命守って 3000日

特集 幌延町交通事故死ゼロ 3000日達成…P4,5



幌延町ウェブサイト
<http://www.horonobe.hokkaido.jp/>



広報
ページ





第6回 幌延町議会 (定例会)

第6回幌延町議会(定例会)は9月17日に開会され、認定7件、報告3件、同意2件、議案9件を原案どおり可決し、9月18日に閉会しました。

議決された案件は、次のとおりです。

▽認定第1号～7号

・平成30年度幌延町一般会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町立診療所特別会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

・平成30年度幌延町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

詳細は、広報誌10月号4～7ページの「幌延町の家計簿 平成30年度決算報告」をご参照ください。

▼報告第1号

平成30年度決算に基づく幌延町財政健全化判断比率の報告について

幌延町財政健全化判断比率について報告しました。

▼報告第2号

平成30年度決算に基づく幌延町公営企業会計資金不足比率の報告について

簡易水道事業および下水道事業の各特別会計における資金不足比率について報告しました。

報告第1号、第2号の詳細は、広報誌10月号8ページの「平成30年度 財政健全化判断比率等の公表」をご参照ください。

▼報告第3号

平成30年度幌延町各会計決算審査特別委員会審査結果の報告について

平成30年度幌延町各会計

○前田 雅信(問寒別) 任期

平成30年度幌延町各会計決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、全ての会計における決算について、認定すると決定したことについて報告しました。

自令和元年10月1日
至令和5年9月30日

▽同意第1号

教育委員会教育長の任命につき同意を求めると同時に

幌延町東ヶ丘スキー場設置条例の一部を改正する条例の制定について

幌延町東ヶ丘スキー場に管理棟を設置することに伴い、管理棟を使用する場合、事前に教育委員会の許可を受けること、使用料金を設定することなど、設置条例を一部改正しました。

自令和元年10月1日
至令和4年9月30日

○木澤 瑞浩(幌延) 任期

▽同意第2号

教育委員会委員の任命につき同意を求めると同時に

幌延町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

家庭的保育事業者などが、連携施設を確保しないことができる経過措置期間を5年から10年に延長するなど条例を一部改正しました。

教育委員会委員の任命について同意されました。

▼議案第3号

幌延町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

これまで放課後児童支援員になるための研修が都道府県知事が行う研修に限られていましたが、指定都市の長が行う研修でも可能になるように条例を一部改正しました。

▼議案第4号

幌延町認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条例で引用する用語を一部改正しました。

▼議案第5号

幌延町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定め

る条例の一部を改正する条例の制定について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者に対し、町長が認めた場合における連携施設の確保義務の緩和・免除などの規定を一部改正しました。

▼議案第6号

幌延町森林環境譲与税基金条例の制定について

林業に関わる人材育成や木材利用の促進を図ることを目的に、幌延町森林環境譲与税基金を設置するなどの条例を制定しました。

▼議案第7号

平成31年度幌延町一般会計補正予算(第3号)

補正の内容は、歳入が繰越金4202万5千円増、

地方特例交付金581万円増などで、歳出は移住促進住宅整備事業2701万6千円増、上幌延開進地区農

業用水道施設改修事業358万6千円増などです。

▼議案第8号

平成31年度幌延町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、保険事業勘定で歳入は繰越金948万4千円増で、歳出は償還金948万4千円増です。

▼議案第9号

平成31年度幌延町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入が町債180万円増、一般会計繰入金80万7千円増で、歳出が個別排水施設整備費284万4千円増、下水道事業人件費など23万7千円減です。



平成31年度 補正予算額 (9月定例会) (単位：千円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	5,067,649	27,029	5,094,678
介護保険特別会計	255,521	9,484	265,005
下水道事業特別会計	224,655	2,607	227,262

一般質問

富樫 直敏 議員

○地域交通について
○バイオマス構想について

西澤 裕之 議員

○令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)について

斎賀 弘孝 議員

○創生総合戦略について
○令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)について

行政報告

植村 敦 議員

○農業振興について
○生活交通対策について

岡本 則夫 議員

○ロマノフ羊の飼育について
○ケアハウス建設について

教育行政報告

・各小中学校における状況について
・コミュニティスクールの状況について

・各中学校部活動における大会結果について
・子ども朝活事業について
・スポーツ少年団活動について

・スポーツ合宿の実施について

特集

幌延町交通事故死ゼロ3000日達成



田中氏（左）から知事感謝状などを受け取った野々村町長

交通事故死ゼロ3000日達成
北海道知事から感謝状

幌延町での交通事故死ゼロが10月4日で過去最長の3000日に達し、北海道や関係団体から町に感謝状などが贈られました。

今回の交通事故死ゼロ3000日の記録は4日時点で、宗谷管内では、利尻町、礼文町に続く3番目の長さになっています。

10月10日には、宗谷総合振興局くらし・子育て担当部長の田中久徳氏が来庁。3000日の達成を記念し、北海道知事からの感謝状、北海道交通安全推進委員会からの表彰状とたてを野々村仁町長に手渡しました。

田中氏は、「交通事故死ゼロを長く続けるのは本当に難しいこと。幌延町にはぜひ4000日、5000日と頑張って継続してほしい」と激励。野々村町長は「これからも住民全体で安全な町をつくっていく姿勢を大切にしたい」と応えました。

野々村町長インタビュー



3000日達成町の誇り

交通事故死ゼロ3000日の達成は喜ばしいニュースです。これも、交通安全指導員をはじめ、PTAや地元企業、住民の皆さんが街頭に立ち、交通安全の啓発を頑張ってくれた一つの成果であり、町の誇りだと思います。

では、今後も交通事故で尊い命を失わない日々を続けていくためには何が必要でしょうか。交通安全啓発のイベントを増やしたり、「次は〇千日だ」と目標を掲げることではないかと私は思っています。

町内にはスーパーの駐車場付近、見逃しやすい車の一時停止箇所、信

号機のない横断歩道など危険が潜む場所が多くあります。大型車両の往来も頻繁で、いつ重大事故が起きるか分かりません。皆さんも少なからずヒヤリとする場面に出くわすことがあることでしょう。大切なのは、交通安全を意識する人の輪を広げることだと考えています。

ゆとり・思いやりのある運転を

「店の近くで路肩駐車をしたら歩行者の死角を作ってしまうかも」「交通量は少ないけど一時停止は必ず止まる」「横断歩道がなくても高齢者や子供がいれば道を譲ろう」。こういったたゆとりと思いやりをもった町民が増えれば、交通事故が起きる可能性はぐっと下がる。町全体がそういう意識をもてば、町外から来た運転手も速度を緩めるはずだ。

今回の交通事故死ゼロ3000日達成を契機に、町民ひとりひとりが目配り、気配り、心配りをしながら安全に暮らす協働の町づくりを目指しましょう。幌延町ならきつとできると信じています。

幌延町内の交通安全運動を推進する「幌延町交通安全推進協議会」の実動部隊として、お年寄りや子どもにも街頭指導を行う交通安全指導員。幌延町の交通事故死ゼロ3000日の達成は、指導員の地道な活動抜きには語れません。14人の指導員をまとめる指導員歴最長33年の村元英一指導部長にお話を伺いました。

Q. 10月4日を迎え、交通事故死ゼロ3000日を達成しました。今のお気持ちは。

「8年3カ月にわたり、町内で死亡事故がなかったことは本当にうれしいです。指導員一同、特に子どもたちや高齢者をお守りしなければと心一つにして、目配りをしてきました」



交通安全指導部長 村元英一氏

Q. ふだん、指導員はどんな活動をしていますか。

「新入学時期をはじめ、春夏秋冬の交通安全週間の街頭指導のほか、神社祭や名林公園まつりなど各イベントの交通整理で60日間ほど街頭に立っています。特に気を引き締めるのは、人や車が多くなる祭りの時。車と人の接触の可能性が高くなる「斜め横断」をする人を見かけたら必ず注意を呼びかけるなど、地道に交通安全の啓発をしています」

Q. 指導員のやりがいを感じるのはどんな時でしょうか。

「交通安全の啓発はすぐに効果があるわけではないではありません。ただ、小学生に自転車の乗り方を指導する「青空教室」は毎年楽しみにしています。子どもたちが指導員の言葉をよく聞き、丁寧に歩道を運転してくれる。その様子を見るのが好きで、将来の幌延を担う子どもにしっかり私たちの思いを伝えようと思います」

Q. 今後の活動の思いをどうぞ。

「私たちの願いは、町内で交通死亡事故ゼロがずっと続くことです。3000日の達成は、あくまで通過点

でしかありません。これからも町民の皆さんが健やかで楽しく安全に過ごせることができるよう指導員一同で頑張っていきたいと思いますので、皆さんにも事故を起こさないよう協力をしていただければと思います」

交通安全指導員の活動のほか、PTAや事業者、警察など多くの人たちに交通安全推進活動への協力をいただいています。その一部を紹介いたします。

問寒別小の児童に、交通ルールを教える天塩警察署の問寒別駐在所長



自転車の乗り方を指導する青空教室



ヤマト運輸が開いたトラック運転手の視界の狭さを伝える授業

告知端末機が新しく変わります！

皆さまのご自宅と各事業所に設置してある「告知端末機」が、IP告知システムの更改に伴い、新しい端末機に変わります。

新端末機では、これまでどおり町からのお知らせや災害などの緊急情報を受信したり、テレビ電話が利用できるほか、スマートフォンで告知端末機の配信情報を受信することができるようになるなど、新たなサービスが加わります。

より便利な新端末機を設置するにあたり、現在設置してある端末機との取替工事を行いますので、皆さまにはご理解とご協力をお願いします。

◆新しい告知端末機

- ・新端末機は、現行端末機と同様のテレビ電話型端末機です。
- ・ホーム画面などのレイアウト変更が若干ありますが、告知タイトルなどはほぼ変わりません。
- ・テレビ電話も操作画面レイアウトに若干の変更がありますが、通話方法はほぼ変わりません。



現行端末機



新端末機

◆スマートフォンで告知情報受信可能

新IP告知システムの専用アプリを、個人が所有するスマートフォンやタブレットなどにダウンロードすることにより、携帯電話やWi-Fiの電波を受けられる環境であれば、町内の配信情報を受信することが可能となります。

アプリの入手方法については、今後広報誌やホームページでお知らせします。



◆告知端末機取替工事

- ・12月から取替工事を担当するNTT東日本が工事日程調整の連絡を開始する予定です。電話などがありましたら、ご協力をお願いします。
- ・取替工事期間は、令和2年1～2月を予定しています。この期間、長期不在になる予定の方は、日程調整連絡の際にお申し出ください。
- ・取替工事は、30～40分を予定していますが、ご家庭内の個別環境より工事時間が伸びる場合もありますので、ご了承ください。
- ・取替工事期間中、町内には現行端末機と新しい端末機がどちらも設置されている状態になりますが、取替状況に関わらずどちらの端末機もご利用いただけます。

	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月
工事日程調整			
		告知端末機取替工事	

※詳しいスケジュールについては、12月号の広報誌や告知端末機などでお知らせします。

- ・告知端末機の設置場所を自己都合で変更する場合、配線費用などは自己負担となります。
- ・端末機種が変わるため電話帳が引き継ぎませんので、取替前に紙などに記録し、取替後に新端末機へご登録ください。

【ご注意ください！】

このたびの工事企業は、東日本電信電話株式会社、及び、東日本電信電話株式会社の業務委託先です。必ず工事従事者証を備えておりますのでご確認願います。それ以外の企業については、今回の工事とは関係がありませんので、訪問や電話販売などにはご注意ください。

お問い合わせ先: 総務財政課 総務グループ 電話: 5-1111 告知端末機: 5-8811

幌延町のふるさと納税返礼品をご紹介します

今年度追加した幌延町のふるさと納税の返礼品を紹介합니다。なお返礼品は、町外からのふるさと納税寄附者へ贈呈しています。

幌延産ミズナラ樽熟成ワイン

(寄附金額：10,000円)



幌延町が特産品開発の一環として製造した「幌延町産ミズナラ樽」により、独特のコクと酸味を味わうことのできる赤ワインです。

幌延町産ミズナラ樽熟成純米酒

(寄附金額：10,000円)



「幌延町産ミズナラ樽」を使用し、木樽で貯蔵した純米酒ならではの旨味と木樽特有のスモーキーな香りが特徴です。
※町内の酒販店でも販売。

幌延ジンギスカン

(寄附金額：10,000円)



幌延町産のはちみつと行者にんにく醤油などの秘伝のタレで漬けたジンギスカンです。

郵便局の「みまもり訪問サービス」

(寄附金額：30,000円)



幌延町で暮らす親の家に、郵便局社員などが毎月1回(3ヶ月間)訪問し、生活状況を確認して、ご家族へお知らせするサービスです。

幌延町プレミアム付商品券事業について

10月1日実施の消費税・地方消費税の引き上げに併せ、所得の少ない方や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するプレミアム付商品券を販売します。

1. 購入対象者

- ①住民税非課税者(平成31・令和元年度)
※住民税課税者に扶養されている方や生活保護を受給されている方は対象外です
- ②平成28年4月2日～令和元年9月30日に生まれた子がいる世帯の世帯主

2. 商品券の内容

1冊あたり5,000円分(500円×10枚)の商品券を4,000円で販売します。購入対象者1名(子育て世帯主は対象となる子どもの人数分)につき、最大5冊まで購入できます。

3. 申請(受付は12月20日まで)

住民税非課税者のみ申請が必要で、子育て世帯主は不要です。申請は、用紙に必要事項を記入・押印し、次の方法で提出してください。

- ・役場2階企画政策課に提出または郵送
- ・問寒別出張所に提出

4. 申請から使用までのスケジュール

時期/対象	住民税非課税者	子育て世帯主
9/2～12/20	申請受付・審査	(申請は不要)
9月下旬から順次	商品券の『購入引換券』を郵送	
10/1～1/31	販売店(幌延町商工会)で商品券購入 (購入引換券、本人確認資料が必要です)	
10/1～2/29	使用可能店舗で商品券を使用	



お問い合わせ先:企画政策課 企画政策グループ 電話:5-1114 告知端末機:5-8814



まちの話題



9月21日

町民マラソン大会 秋空のもと 183人が快走

町民マラソン大会が9月21日、町総合スポーツ公園を発着点として行われました。子どもから大人まで183人が出場。沿道から声援を受け、それぞれが1~8キロのコースを駆け抜けました。



9月19日

100歳迎える松永ヨシ子さん 内閣総理大臣がお祝い

令和2年3月に100歳を迎える松永ヨシ子さんの長寿を祝い9月19日、内閣総理大臣から賞状と銀杯が贈られました。野々村仁町長が賞状を代読し、大正から4つの時代を生きてきた松永さんにねぎらいの言葉をかけました。



10月4日

日本民謡にバンド音楽が融合 舞台芸術鑑賞事業に104人参加

幌延町舞台芸術鑑賞事業が10月4日、国際交流施設で開かれ、104人が来場しました。コンサートには日本民謡とドラム、ギター、三味線を融合した5人ユニット「ネオバラッド」が登場。北海道や東北地方、沖縄などの伝統民謡を、美しい歌声と多様な楽器で迫力ある演奏で表現し、来場者を魅了しました。



9月28日

9月29日



幌延町民文化祭 木工品や絵画など7団体が展示



町内の文化サークル7団体が作品を展示する幌延町民文化祭が9月28、29の両日、国際交流施設で開かれました。木工や手芸、絵画作品などが並んだほか、28日には幌延町手打ちそば愛好会が打ったそばが来場者に振る舞われました。



交通安全指導員の植村氏に知事感謝状

10月4日



町が委嘱する交通安全指導員を15年間続けている植村雄二氏に、その功績をたたえ、鈴木直道北海道知事から感謝状が贈られました。贈呈式は10月4日に行われ、野々村仁町長が感謝状を代読し、植村氏に手渡しました。



消防団、幌延消防、役場が合同で火災訓練

9月24日



幌延町消防団幌延分団の秋季消防演習が9月24日、役場駐車場で行われました。役場内で火災が起きたと想定し、消防団員は放水訓練を、これに併せて、町職員は連絡訓練、幌延消防署員は負傷者救出訓練を行い、火災対応の手順を確認しました。



音楽に合わせて軽快にエアロビクス

10月5日



稚内市の温水プール「水夢館」のインストラクターを招いた「エアロビクス教室」が10月5日、総合体育館で行われ、子どもから大人まで約30人が汗を流しました。全身運動のエアロビクスの後は、ヨガマットを使って体幹を鍛えるトレーニングを行いました。



年末調整・消費税軽減税率制度説明会のお知らせ

年末調整の仕方、給与支払報告書（源泉徴収票）と各種支払調書の作成・提出について紹介する説明会を次のとおり開催します。出席される方は税務署から事前に送られてくる年末調整の関係書類を会場にお持ちください。年末調整説明会の終了後、消費税軽減税率制度の説明会を開催します。

【日時】

11月19日(火)

年末調整の説明会：午後1時30分から

消費税軽減税率制度の説明会：午後3時30分から

【場所】

幌延町商工会館
(幌延町3条南1丁目)

【お問い合わせ先】

住民生活課 住民グループ

電話：5-1112

告知端末機：5-8812

稚内税務署

電話:0162-20-1002



情報

インフォメーション

運転免許更新時講習のお知らせ

●会場 天塩町社会福祉会館

とき 11月6日(水)

- ・初回更新者講習
午前10時～正午
- ・優良運転者講習
午後1時～1時30分
- ・一般運転者講習
午後1時45分～2時45分
- ・違反運転者講習
午後3時～5時



11月8日から14日は、 歯・口腔の健康づくり8020推進週間

8020運動は、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われていています。楽しく充実した食生活を送り続けるためには、妊産婦を含めて生まれてから亡くなるまでの全てのライフステージで健康な歯を保つことが大切です。

いつまでもおいしく食べられるように、歯と口のチェックを行いましょう。町では、**節目年齢の方と妊婦**を対象に、**無料**で歯周病検診を実施しています。

歯周病検診

【対象者】◎今年度 満30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の方
◎妊婦の方

【検診期間】令和2年3月27日(金)まで

【場所】幌延町立歯科診療所

【料金】無料(5,000円を町から助成します)

【予約方法】受診を希望する日の1週間前までに、歯科診療所(電話5-2353)に連絡してください。
*歯周病検診の予約であることを伝えてください。

【その他】いきいきブルーポイントの対象事業です。

対象の方には4月に受診票をお送りしています。受診票をなくされた方は保健師にお知らせください。(電話5-1790)

お問い合わせ先:保健福祉課 保健グループ 電話・告知端末機:5-1790

自動車事故被害者サポートのご案内

自動車事故対策機構は、自動車事故被害者への援護業務を行う国土交通省管轄の独立行政法人です。以下3つの条件に当てはまる方へのサポートを行っています。

①介護料支給

自動車（バイクを含む）事故による重度後遺障害（脳損・脊損）により、介護を要する方へ後遺障害の程度などに応じて月額35,400円～209,430円支給します。

②交通遺児等育成資金貸付

自動車（バイクを含む）事故により死亡または重度後遺障害（脳損・脊損）を負われた方の義務教育終了前の子弟に対し、月々一定額の育成資金を無利子で貸し付けします。

③交通遺児等友の会の入会

自動車（バイクを含む）事故により死亡または重度後遺障害（脳損・脊損）を負われた方の義務教育終了前の子弟のいる家庭に対し、交流会やレクリエーションを開催しています。

お問い合わせ先：自動車事故対策機構旭川支所
電話：0166-40-0111

国の教育ローン(日本政策金融公庫)のご案内

高校、大学などへの入学時、在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき、350万円以内を、固定金利（年1.71%、令和元年8月15日現在）で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。

詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくか、下記のコールセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ先：教育ローンコールセンター
0570-008656（ナビダイヤル）
または、(03) 5321-8656

固定資産税の家屋に係る手続きについて

1. 固定資産税の家屋に係る手続きは、主に次の項目があります

①家屋を取り壊した場合

「家屋滅失届」を担当課に提出してください。後日、担当職員が現地確認を行います。

②家屋の名義を変更した場合

「家屋名義変更届」を担当課に提出してください。

※①、②について登記家屋の場合、滅失登記・所有権移転登記をすることで、家屋滅失届、家屋名義変更届の提出が不要になります。

③家屋を新築・増築した場合

新たに固定資産税が課税されます。課税の基礎となる評価額を算出するため、担当職員が伺いますので、完成後お早めにご連絡ください。

2. 固定資産の現況確認の実施について

地方税法の規定により、毎年10月から12月にかけて現況確認を行っています。

3. 留意事項

- ・固定資産税は毎年1月1日現在の状況に基づいて課税されますので、1月2日以降に取り壊した家屋は、その1年間は課税されることとなります。一方で、1月2日以降に新築された場合は、その1年間は課税されません。
- ・住宅を取り壊した場合は、住宅用地の特例が適用されなくなるため、土地に係る固定資産税が高くなる場合があります。
- ・各種手続きなどについて、不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：住民生活課 住民グループ
電話：5-1112 告知端末機：5-8812

気象台一口メモ

津波防災を考える

宗谷地方ではこれまで強い揺れを伴う地震は発生していません。しかし、遠く離れた場所で起きた地震による津波は、日本海側・オホーツク海側を問わずにきています。特に日本海側では1mを超える津波が過去に何度も襲っています。

2011年3月の東日本大震災を教訓とし、国は同年6月、「津波対策の推進に関する法律」を制定し、11月5日を「津波防災の日」と決めました。

津波の恐れがある場合、気象庁は津波注意報や警報を発表し、すぐに海から離れ高い場所へ逃げるようお知らせしています。それよりも、地震・津波についての正しい知識と判断で自分の命を守ることが重要です。

2004年のスマトラ沖地震の際、10歳の少女が授業で習った津波の特徴を思い出し、数百人を連れて避難しました。これにより、多くの命が救われました。

この少女のようにわずかな知識でも多くの命は守れます。津波防災の日をきっかけに、まずは勉強を始めてみましょう。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

九月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

天地の間結ばんと星流る
夜半の窓俤薄き流れ星
流星の玉砂利のごと空を飛ぶ
流れ星願いばかりが残りけり
流れ星歩いて闇の美しく
祈ぎ事を刹那に託す走り星
はみ出して彼の地球へと星走る
流星に明日を待たぬ眠りけり

横山 貞雄
富樫 堅一
富樫 とも子
小玉 利治
佐藤 光朗
田中 順子
熊谷 千恵子
田中 徹男

酪農体験ツアー in ほろのべ町 町外の4人が参加したモ～



町営牧場で牛の放牧や人工授精の様子を見学する参加者

9月20日から2泊3日の行程で「酪農体験ツアーinほろのべ町」が開催されました。主催は、幌延町やJA幌延町、幌延町議会などで構成する「幌延町酪農担い手育成センター」で、日ごろ取り組んでいる酪農の担い手の育成・確保の活動の一環として、今年度初めて行われました。



牛のエサを自動で寄せる最新機械を眺める参加者

ツアーの目的は、新規就農希望者や移住を考えている方に対し、幌延町の魅力や酪農経営に係る環境について理解を深めてもらい、将来の就農地や移住・定住先に選んでいただくことです。道内外から参加者を募ったところ、道内の4名の方が参加しました。参加者は先進農場や2年前に就農した農場を視察したほか、雪印メグミルク(株)幌延工場など酪農関連施設を見学しました。



農協青年部と参加者が親睦を深めた交流会

2日目からはJA幌延町青年部の協力により、参加者それぞれが酪農家の家に泊まり、酪農家の生活や農作業を体験しました。参加者から「酪農に対する関心が高まった」「人工授精を見て酪農家以外の牛との関わりに興味をもった」「若い農家さんからいろいろ苦労話を聞いた」「温かく受け入れていただき、感謝の気持ちでいっぱいです」という感想を聞くことができました。同センターは、継続して事業をすすめることで、新規就農や雇用就農、交流人口の増加に繋げていければと期待しています。

新しい地域おこし協力隊 大川 修史さんを紹介します

おおかわ しゅうじ

埼玉県から来た大川修史さんが10月1日、新たな「幌延町地域おこし協力隊」として任用されました。大川さんには主に観光振興の分野で活躍していただきます。



自己紹介

大川修史と申します。英国への留学経験もあり、前職は英国車・イタリア車の販売をしていました。町民も移住・旅行者も、そして私もハッピーになれるような取り組み・施策を行いたいと思います。

趣味

1人で30カ国ほど旅行しました。特に岬巡りが好きで、ポルトガルの口力岬やギリシャのスニオン岬に行きました。北海道では宗谷岬や納沙布岬も訪れています。

特技

お酒や料理について語ることです。日本酒やワインの販売をしていたこともあり、プレゼントなど検討されている時はぜひご相談ください。イタリア料理店で働いたことがきっかけで、パスタやドリア、ティラミスなども作ります。日本蕎麦も好物の一つです。

今後の活動について

これまでの経験を生かし、他とは違った切り口で幌延の魅力の発信と価値の向上を図れると思っています。皆さんのご協力を得て、さまざまなイベントを開きたいです。温かく見守って頂ければ幸いです。どうぞよろしく願います。



地域おこし協力隊通信

vol.47



こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。季節はすっかり秋に変わり、初物のジャガイモやタマネギ、秋鮭などのおすそ分けをいただき、秋の恵みを味わう

日々を楽しんでいます。

9月30日、カヤックとカヌーで川を下る「モニターツアー」を行いました。幌延の観光資源の発掘を目的に、ガイドにサロベツ・エコ・ネットワーク職員を招きました。町内外の8名が参加しました。

コースは、下沼、浜里両地区をつなぐ音類橋おとんるいからサロベツ川に入り、天塩川に合流して天塩町の天塩河口大橋へ向かう14km。手つかずの自然が多く残っているサロベツ川では、時折、カワセミが川縁から現れ、渡り鳥が頭上を飛んでいくなどふだん見られないたくさんの発見がありました。

中間となる天塩川との合流地点は、海のような白波が立っていました。反対側の川岸を目指して川を横切る際、大きく船体が上下に揺れるなどスリリングさも味わえました。

昼食後、天塩川を下ろうとしましたが、波が高かったため、それまで漕いできたサロベツ川に戻ることにしました。川下りならぬ「川上り」でしたが、水面は穏やかで、透き通った秋空の背景に利尻富士を望みながら自然の雄大さを感じつつ、全員が無事ゴールできました。

後日、参加者と振り返り会を開き、川を活用した観光への取り組みについて検討をしていきます。



●町ホームページ協力隊コーナー「BaseTown」 / ●協力隊Facebook QRコード
<http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www4/section/kikakuseisaku/le009f000000a9tp.html>



ねんきんネットなら簡単に年金情報を確認できます

□ ねんきんネットのできること

パソコンやスマートフォンから年金記録、年金の見込額試算、ねんきん定期便などの確認や各種届出書の作成ができます

□ ねんきんネットを利用するために用意するもの

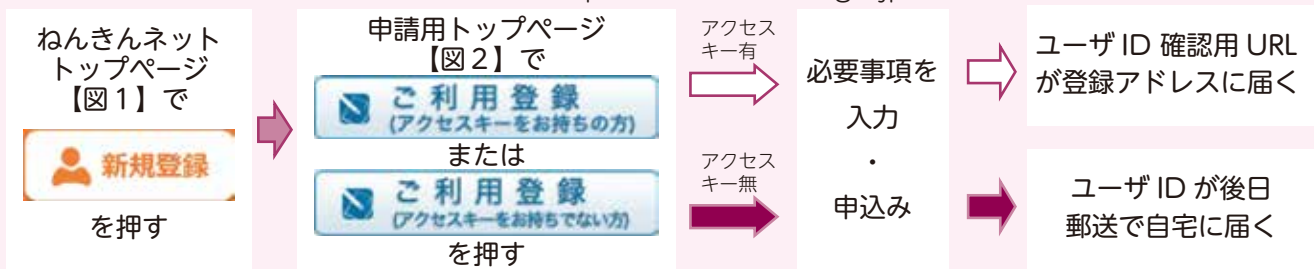
- ①基礎年金番号がわかるもの（年金手帳や年金証書）
- ②Eメールアドレス
- ③アクセスキー（お手元にある方）

お客様のアクセスキー	※アクセスキーとは、ねんきんネットの即時登録に必要な17桁の番号で、ねんきん定期便等に左のように記載されています
×××× ×××× ×××× ×××× ×	

□ 登録およびアクセス方法

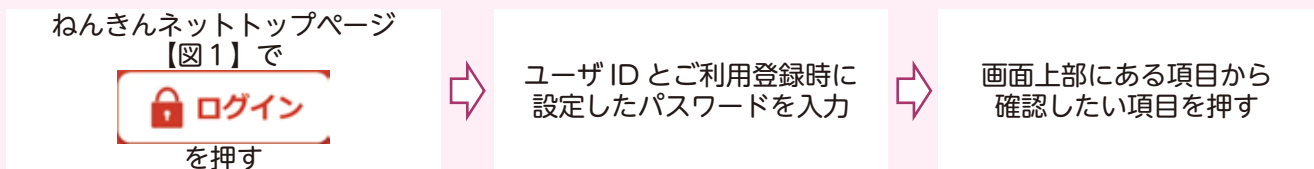
(1) ねんきんネットへの登録手順

ねんきんネットトップページ (https://www.nenkin.go.jp/n_net/index.html)



※ユーザIDは、ねんきんネット上の自身のページにアクセスするためのIDです

(2) 自身のページへのアクセス方法



【図1】



【図2】



※詳しくは、「ねんきんネット」ホームページをご覧ください（動画配信もあります）

専用ナビダイヤル：0570-058-555

町民くらしのカレンダー 11月 (Nov)

注：保セ=保健センター
問保=問寒別へき地保育所
総体=総合体育館

子セ=子育て支援センター
老セ=老人福祉センター
生セ=幌延町生涯学習センター

問セ=問寒別生涯学習センター
国際=国際交流施設

1 金	つばみひろば 10:30~11:30(子セ)	16 土	
2 土		17 日	
3 日	文化の日	18 月	大腸がん単独検診回収日(終日、役場)
4 月	振替休日	19 火	つばみひろば 10:30~11:30(子セ) 大腸がん単独検診回収日(午前、役場) 問寒別ますます健康教室 10:45~(問セ)
5 火	めばえわかばひろば 10:30~11:30(子セ) 福寿会健康相談 14:00~(老セ)	20 水	めばえわかばひろば 10:30~11:30(子セ) 生涯学習講座「映画上映会」(問セ)
6 水	問寒別にこにこ教室 10:00~(問セ)	21 木	はつらつ教室 9:45~(保セ)
7 木	はつらつ教室 9:45~(保セ)	22 金	絵本の読み聞かせ 11:00~11:30(生セ図書室)
8 金	【問寒別出張診療日】	23 土	勤労感謝の日 子ども会フットサル大会 9:00~(総体)
9 土	こども園おゆうぎ会 9:30~(こども園)	24 日	町内会対抗バレーボール大会(総体)
10 日	子ども運動教室「キッズダンス」(総体)	25 月	【心療内科・精神科診療日】 問寒別すきっぷくらぶ 10:00~11:00(問保) 英会話教室 19:00~20:30(生セ)
11 月	【心療内科・精神科診療日】 令和元年度巡回無料法律相談 9:00~正午(保セ) 出張ひろば 10:00~11:00(問保) 英会話教室 19:00~20:30(問セ)	26 火	
12 火	子宮がん・乳がん検診(予約制、保セ)	27 水	
13 水	すくすく健診 13:00~(保セ) 生涯学習講座兼生きがい教室「映画上映会 “ふるさとがえり”」13:30~16:00(国際)	28 木	
14 木	移動図書 15:00~16:30 (問保)	29 金	もぐもぐスクール 10:00~(保セ)
15 金	にこにこ教室 9:30~ (保セ) 移動図書 15:30~18:00 (こども園)	30 土	チャレンジ教室「クリスマスリースを作ろう」 9:00~11:30(生セ)



★お悔み申し上げます(9月)
芳野福太郎さん(94歳)問寒別
佐々木隆夫さん(65歳)下沼

飯田 律仁くん(父仁樹)宮園町
(10月生まれ)
岩川 立樹くん(父貴樹)栄町
富樫 柊吾くん(父圭祐)宮園町
森田 幸弥くん(父 駿)問寒別
(9月生まれ)

戸籍の窓

☆お誕生おめでとう
◇幌延町社会福祉協議会へ
(香典返しの一部)
小林 秀幸さん(尊)下沼
芳野 福一さん(父)問寒別
目黒 泉さん(母)栄町
佐々木信義さん(弟)札幌市

ご寄付ありがとうございます
ごさいます

9月



改元記念特集

広報誌で振り返る「平成」の幌延町

No.7

幌延町広報誌「ほろのべの窓」2018年10月号 No.648 (平成30年10月号)

[こんなことが掲載されました]

診療所だより「備えあっても憂いあり？」

平成30年9月6日未明、最大震度7を記録して北海道全域停電（ブラックアウト）を引き起こした胆振東部地震が起きました。震源地から200km以上離れた幌延町でも震度2を計測。人畜被害はなかったものの、停電の完全復旧には2日間かかり、産業や生活にさまざまな影響を及ぼしました。

同年広報誌10月号では、町立診療所の田川豊秋医師がコラム「診療所だより」で災害時の備えの大切さを紹介しています。田川医師は、阪神淡路大震災やハイチ地震など国内外の災害現場で医療活動を行った経験から、「家庭では停電に備えた照明や食糧などの備蓄は十分でしたか」「生活を維持するためにそれらを使いこなせましたか」と呼びかけました。診療所では、患者の命を守る最低限の機能を維持する非常用電源は確保できた一方で、電話の不通や電子システムの障害で臨時休業を余儀なくされた、と反省点を振り返っています。

30年あまり続いた平成は、数多くの想定外の災害に見舞われました。令和になった今年10月も、東日本を中心に記録的大雨をもたらした台風19号による河川の氾濫で、多くの命が奪われました。

町は近年、災害対応のため、地震による津波や天塩川・問寒別川の氾濫で堤防が決壊した場合の浸水域などを示したハザードマップを全戸配布。リース会社やコンビニと災害時協定を結んだり、告知端末機の更新などで情報伝達手段を改めています。ただ、各人が防災意識を高めることが最も重要です。過去を教訓に災害への備えを心がけましょう。



表紙は「長寿まつり」でした。▲

今月号で、改元記念特集 広報誌で振り返る「平成」の幌延町 を終わります。

ほろのべの裏窓

今月号の広報誌は、全16頁中8頁がカラー印刷です。ふだんは表紙と裏表紙のみがカラーですが、製本・印刷を委託する業者との協議を進めていく中で、相手方から「誌面の制作過程上、頁数が16頁の場合に限り、同じ経費で8頁をカラー面にすることが可能」という提案がありました。そこで、今月号は16頁で収まる構成だったので試してみました。いかがだったでしょうか。カラー面は、まず4、5頁の交通事故防止の特集を彩りました。次に、8、9頁の「まちの話」では、競い合いながら秋空の下を駆け抜けるランナーたちの様子を紹介。12頁の「酪農体験ツアー」では、雄大な広がる草地の緑と、餌を求めて所狭しと遊ぶ白黒の牛たちを臨場感をもって表現することができたと思います。

● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ● 住民生活課生活グループ

電話：5-1112 / 告知端末機：5-8812



男 1,178 (-1)

女 1,122 (-3)

計 2,300 (-4)

世帯数 1,244 (-6)

(令和元年9月末日現在) ※()内は前月比

わが家のエンジェル



松村 季帆ちゃん (平成31年2月10日生・幌延)
お父さん 渉汰さん
お母さん 由季さん
わが家の第二子季帆です。7カ月に入る前にはつかまり立ちを、8カ月に入る前にはつかまり立ちから5歩も歩きました。2人目の成長のはやさを感じています。大好きなお姉ちゃんとすくすく育てね◎



佐藤 柚樹くん (平成31年2月25日生・幌延)
お父さん 美彦さん
お母さん 由梨さん
お姉ちゃんが大好きな柚樹です。お散歩に行くことも大好きで、ベビーカーに乗り、最近生えた小さい歯を出してニコニコ。これからも姉弟仲良く、大きくなつてほしいです。